英語科　学習指導案

八尾市立龍華中学校

研究テーマ：学びへのスムースな導きと、学んだことを定着させ、深めるための授業

教科	英語科	学年・組	第３学年３組	場所	第３学年３組教室・分割A教室
単元名	仮定法　If I had ～, I would(could) ～. If I were ～,I would～.　（第３時／全３時）				
本時の目標	・　仮定法の文法ポイントを理解して、利用できる ・　会話の流れを理解し、正しい仮定法の文を自分で考えて作ることができる。				
本時の評価規準	・自分で作成した英文を発表することができる。 ・文法のルールを理解し利用できる。 ・自分で考えて仮定法の文を考えることができる。				

本時の判断基準	評価の観点	A：十分満足できる	B：おおむね満足できる	支援を要する生徒へのてだて
	思考・判断・表現	3コマ漫画の話の流れを理解し、適切な仮定法を使った文を適切に作ることができる。	3コマ漫画の話の流れを理解し、適切な仮定法を使った分を相談や調べながら作ることができる。	3コマ漫画の話の流れを説明し、どのような文がいいかペアと相談し、仮定法を使った英文を作る準備を一緒に行う。
	主体的に学習に取り組む体動	自分で話の流れを理解しようと試み、仮定法の文法ルールに基づき英文を作ろうとしている。	ペアと協力しながら、話の流れを理解しようとし、協力して英文を作ろうとしている。	ペアとの対話とPCの使用ができるよう支援する。

１．本時のめあてと、そのねらい

めあて	3コマ漫画の状況を読み取り、場面に合う仮定法の英文を考えて書こう。　【知識・技能獲得型】
ねらい *教材観、生徒観、指導観を含む	自分の力や、ペアと協力しながら課題に取り組むことができる生徒が多い。しかし、文法の問題に取り組むとなると、苦手意識もあり、進みが悪くなる生徒も少なくない。今回は3コマ漫画を利用し、英語で書かれた話の流れを理解し、場面に合った仮定法を使った英文を作る活動を行う。ペアとの交流を通して、主体的に活動に取り組む姿勢を育てるとともに、どのような話の流れで仮定法を使った文を利用するかを理解する機会を作りたい。

２．期待する振り返りの好例（めあてを踏まえて）

現実とは違う場面を踏まえて、学習した仮定法の文法を使用し正しく文章を作ることができた。また、クラスメイトが作った様々な仮定法の英文を見ることができた。

３．単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
どのような場面で仮定法を使うか理解する。 仮定法の文法ルールを理解する。	文法ルールを運用できる。 自分の考えを仮定法を使った英文で書ける。	積極的に活動や発言を行い、主体的に学習している。

４．単元の指導と評価の計画

時	学習内容	評価の観点	時	学習内容	評価の観点
1	仮定法　If would(could)	知識・技能			
2	仮定法　I wish I would	知識・技能			
3 本時	仮定法3コマ漫画 【本時】	思考・判断・表現			

５．本時の学習過程

	学習活動	◇指導上の留意点 〇理解の不十分な生徒への手立て	評価の観点 （評価方法）
めあて：3 コマ漫画の状況を読み取り、場面に合う仮定法の英文を考えて書こう。			
導入 （１０分）	「もし八尾市長になればどうしたいか」をペアで日本語で考えさせる。	・ペアで自分の意見（日本語）を出し合う。何人かあてて意見を全体で共有。	・積極的にペアと対話している。意見を出せている。（主）
展開１ （５分）	仮定法の文の音読	・仮定法の例文を読み競争する。読む前に一度音読の練習をしてから活動を行う。 ・まだ文法のルールに不安がある生徒もいるので、マネして音読するように伝える。	・積極的に音読している。（主）
（１５分）	（If I ～,I would(could)～. If I were ～,I would～.の復習とライティング。）	パワーポイントで解説・復習を行う。 ・解説後、導入で聞き出した自分の仮定法の文を英語で書く。（PC使用OK）	・文法ルールを理解している。ルールを意識して演習をしている。（知）
展開２ （１５分）	（PPTに映される3コマ漫画をみて、自分でセリフをいれる。）	ロイロで配られた英語の3コマ漫画の最後のコマのセリフを前後の英文から推測して書く。〇意味をPCで調べることは可能。	・ペアと協力し調べながら演習をしている。（主） ・文脈に合った適切な英文を書いている。（思）

まとめ （５分）	仮定法の文法ルールの振り返り 状況に応じた英文が書けたこと		今回学習したポイントを理解している。（思）